

令和7年度 教育指導の重点及び学校経営計画

| | | | |
|------|----|-----|-------------|
| 学校番号 | 36 | 学校名 | 加茂高等学校（全日制） |
|------|----|-----|-------------|

| | | |
|------------------------|--|---|
| 社会的役割等 (スクール・ミッション) | 文武両道の校風のもと、地域から信頼される伝統ある高校として 探究を柱とした、主体的で深い学びを実現する教育活動を通して 未来を切り拓く力を備え、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す学校 | |
| 学校教育目標 (教育方針) | 「文武両道」の校風を生かして、「高い学力」「健康でたくましい心身」「豊かな人間性」を備え、自立した生徒を育成する。 | |
| 3つの方針 (スクール・ポリシー) | どんな生徒を 育てたいか 【GP】 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の個性や適性に合った目標を定め、最後まで粘り強く挑戦できる生徒 様々な課題を発見し、他者と協力しながら、主体的に課題解決に向けて取り組める生徒 人と繋がる力を養い、多様な価値観を理解して、将来地域社会でリーダーとして活躍できる生徒 |
| | 生徒をどう 育てるか 【CP】 | <ul style="list-style-type: none"> 「自律した学習者」となれるよう個に応じた適切な支援を行いながら、進路目標の実現に向けて意欲的に学習できるよう、3年間を見通したキャリア教育を推進 基礎・基本から深い学びまでを視野に入れて授業を組み立てるとともに、科学的な探究心や知的好奇心を喚起し、地域と協働して地域社会に向けて発信できるような課題解決型の学習を推進 様々な学校行事、部活動、ボランティア活動等、互いに協力しながら一人一人が活躍できる場面を通じてコミュニケーション能力や社会性を養えるよう、3年間を見通した計画的な活動を推進 |
| | どんな生徒を 待っているか 【AP】 | <ul style="list-style-type: none"> 多様な学びに自ら取り組み、自分の可能性に挑戦し、将来の目標を実現しようという意欲のある生徒 学校行事や部活動等の活動に積極的に参加し、充実した学校生活を築いていこうという意欲のある生徒 社会と積極的に関わりをもち、一人一人の個性を尊重しながら相手を思いやり、協働して物事を進めようという意欲のある生徒 |
| 学校の抱える課題 | <ul style="list-style-type: none"> ●文理探究科を推進するための部署設置と、探究的な学習の取り組みを効果的に発信する体制づくり。 ●探究的な視点を取り入れた授業改善と教員の授業実践スキルの向上。 ●生徒一人ひとりの状況をより深く理解し、関係部署との連携強化を図りながら組織的な支援を行う。 ●生徒の生活習慣の確立と、受験を意識した1年時からのキャリア教育の充実と基礎学力の定着。 ●ICT化の推進や分掌業務の再構築、適材適所の人員配置等により業務効率化等を図り、教職員の働き方改革を推進する。 | |
| 教育指導の重点 | 領域・分野 | 今年度の具体的な重点目標 |
| | 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの学習状況や進路希望を把握し、きめ細やかな学習支援を行い進路目標の実現を目指します。（進路指導を含む） 将来の生き方や社会とのかかわり方を深く考えさせ、勤労観・職業観を育てるための活動を計画的に実施します。（進路指導を含む） |
| | 特別活動 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動やホームルーム活動を活性化し、生徒の自主性や社会性を育みます。（学習指導を含む） 関係各方面との連携を強化し、生徒の視野を広げる機会を提供します。 |
| | 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> 幅広いものの見方や奉仕の精神、健康でたくましい心身、規律ある生活態度を育成します。（特別活動・保健厚生を含む） 生徒一人ひとりの個性や多様性を尊重し、生徒が主体的に考え、判断し、行動できるよう支援します。 |
| | 学校経営 | <ul style="list-style-type: none"> 教職員の働き方改革を推進し、教育活動の質の向上を図ります。 探究的な学びを推進するとともに、学力の向上と進路希望の実現を目指します。 |

| 年度目標 | | | | 年度末評価(自己評価) | | | |
|------|---|-----------------|--|-------------------------|------------------|-------|--------------------|
| 領域分野 | 3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的取組・方策 | 県教育振興基本計画での位置付け | 達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標 | 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等 | 評価 A. B. C. D | 成果と課題 | 総合評価 A. B. C. D |
| 学習指導 | タブレット活用（ICT利用）・校内研修・授業公開・授業アンケートなどを通して授業改善に努め、生徒が主体的に取り組める、「わかる授業」を展開します。 | 施策Ⅱ-9 | 生徒の授業評価に基づいた教員の授業改善が図れたか。 | | | | |
| | 家庭学習の習慣を身に付け、「自律した学習者」となれるように、個人懇談や教育支援ツールの活用を通して、段階的できめ細やかな指導を行います。 | 施策Ⅱ-8 | 効果的な家庭学習の指示や支援、個別懇談の充実を図れたか。 | | | | |
| | 一人ひとりが夢を持ち、進路目標の実現に向けて意欲的に学習できるように、3年間を見通したキャリア教育を実施します。 | 施策Ⅱ-13 | 充実したキャリア教育を実施し、それぞれの取り組みにつながりをもたせられたか。 | | | | |
| 特別活動 | 科学的な探究心や知的好奇心を育むため、総合的な探究の時間や理数科の課題研究の充実を図ります。 | 施策Ⅰ-1 | 総合的な探究の時間や課題研究では、生徒が主体的に協働して取り組むことができたか。 | | | | |
| | 地域と連携した地域課題研究、探究活動、ホームルーム活動、学校行事等を通して、他者と協力しながら主体的に課題解決に取り組む姿勢を育みます。 | 施策Ⅰ-4 | 学校行事において、生徒会を中心に、学年やクラス等の集団で協力して取り組めたか。 | | | | |
| | 生徒会活動を活性化させ、生徒が自ら考え、積極的に学校行事や自主的な活動に参加できるよう支援し、自主自律の精神を育みます。 | 施策Ⅱ-8 | 生徒の自主性を尊重し、学校生活について自ら考える姿勢を育むことができたか。 | | | | |
| 生徒指導 | 広い視野と豊かな教養を培うため、外部人材による各種の講話や読書指導等を実施します。 | 施策Ⅳ-24 | 各種講話や朝読書等のアンケートの数値的評価を行い、取組み状況を改善できたか。 | | | | |
| | 心身の健康管理を自分で適切に行うことができるように、日々の生徒観察をはじめ、個に応じた保健指導、教育相談を行います。 | 施策Ⅲ-19 | 検診の結果に基づく早期受診指導を行えたか。傷病による保健室への入室者は減少したか。適切な教育相談室の利用ができたか。 | | | | |
| | 部活動をとおして心身の育成と社会性を養うことができるよう、3年間を見通した計画的な活動を実施します。 | 施策Ⅳ-25 | 部活動加入率の割合及び部活動の活動状況は向上したか。 | | | | |
| | 規律ある高校生活と社会の一員としてのマナーと精神を身に付けられる生徒指導を推進します。 | 施策Ⅰ-1 | 不注意による遅刻者が減少したか。安全な登下校と挨拶の励行、身だしなみを整えることができたか。 | | | | |
| 学校経営 | 生徒一人ひとりの学力の向上と進路希望の実現のため、教育内容や探究的な学びをより良いものにしていきます。 | 施策Ⅳ-20 | 作業部会と教科会、学年会が連携し、地域と連携した探究活動の充実を図れたか。 | | | | |
| | 保護者や地域の方が本校の教育活動を理解できるように、授業公開やPTA活動を一層充実させます。 | 施策Ⅱ-13 | 必要な情報を迅速かつ分かりやすい形で発信し、地域住民の方々のアピールを行えたか。 | | | | |
| | 本校の魅力を地域や中学校に知っていただくために、ホームページの更新などを通して、タイムリーな情報発信に力を入れ、広報活動の充実を図ります。 | 施策Ⅰ-7 | ホームページのアクセス数を増やすことができたか。生徒の出身中学校との情報交換を行えたか。 | | | | |
| | 教職員が効率的に勤務できるよう、勤務時間を意識した働き方を推進し、業務の見直しを継続的にを行います。 | 施策Ⅳ-27 | 業務の効率化を図るとともに教員の時間外在校等時間を減らし、職員の月残業時間を45時間以内におさえることができたか。 | | | | |

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|